

(別紙)

【事故状況(イメージ)】

- ① P11橋脚側の鋼桁は「降下用の吊設備」で上から吊っていた。
- ② A2橋台側では、鋼桁と仮受桁が連結された状態で仮受架台とジャッキにより下から支えていた。仮受桁を支えるため、吊設備と仮受桁を仮止めしていた。なお、鋼桁の荷重は、ジャッキ等により支持されていた。
- ③ その後、何らかの理由により、A2橋台側の鋼桁が国道176号上に落下した。

